

No. 17

## たちはなおとスウパアぐんて



このスウパアぐん  
てをつかうとぬけな  
い草もかんたんにぬ  
けます。

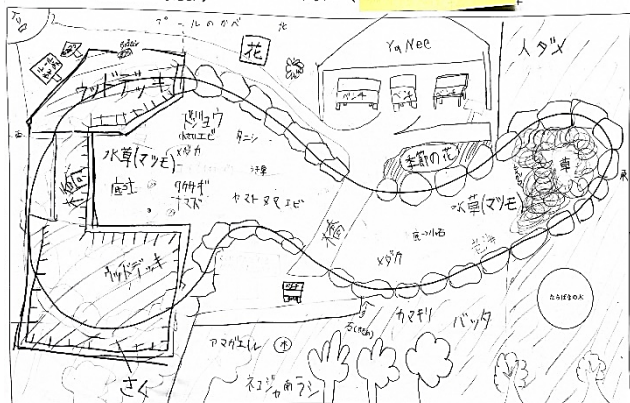
6月29日(月)から始まったとんぼ池再生プロジェクト第2章。全校生と地域・保護者の方で、再生作業は今日も続いています。作業は、正直、大変です。相当大変です。その上、梅雨真ただ中から始まり、梅雨が明けてからは、暑さが厳しくなり…。なぜ、この時期にするのだ…と思われるのも仕方ありません。

めあて

とんぼいけの再生計画を考えよう

メンバー (

木



答えは単純です。「兵庫県の県民まちなみ緑化事業」の助成金を受けることが決まったのが今だからです。助成されることにより、学校を緑であふれさせたい、地域の学びの拠点にしたい、誰もが愛する自慢の学校にしたい。その願いのスタート位置に再度立つことができたのです。本当に有難いことです。



24年前に完成し、20年前に一度再生されたとんぼ池もその後は、育成保全がうまくいかず、生き物たちが住みつかなくなったしまったとんぼ池。三度目の正直です。今度こそ、学校が100才になっても残るとんぼ池にします。とんぼ池に、昆虫や植物、鳥、子どもたち、地域の方が集まり、誰もが過ごしやすく心の栄養を蓄える場所。心を育て、学びがつながる拠点として、皆の宝となる場所にしたいと思っています。緑多いその空間では、生まれた生き物の命が育ち、外の世界へ飛び立っていく。ここで学ぶ子どもたちが、6年間で立派に成長し、立花西小学校から次のステップへ進んでいくことを想像しています。

学校全体がピオトップであり、命の拠点、学びの拠点となる立花西小学校にしていきます。

「スウパアぐんて」は、いつか本当に開発されるのではないかと思います。2年生が報告に来てくれた「スウパアぐんて」は体験から学んだことにより、その発想を生み出し、国語の学習の中で、文章にしてまとめられました。大変、うれしく感じたところです。

左の設計図は、6年生が作りました。よく考えてくれています。右上の60周年記念キャラクター「たちばなお」はガシンボルとなる橘の木の实をランドセルに入れて背負っています。これも、6年生の女の子が考えてくれました。24年前から橘は、今なお実を結び続けています。これから大切に守りたい植物のひとつです。再生作業は、2学期も一部予定しています。育成保全是、これからずっと続けられ、引き継がれていきます。どうぞ、保護者・地域の皆様この再生プロジェクトにご協力ください。よろしくお願いいたします。